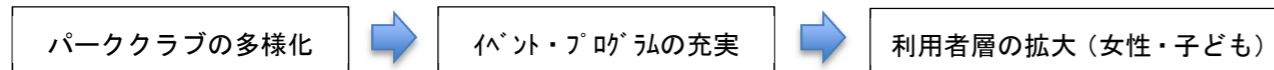


利用者層の拡大について（案）

【1】背景

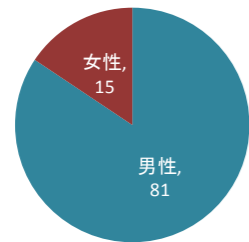
- ・アンケート結果からも、「ファミリー層が弱い」等、利用者層に偏りがあり、課題となっている。
- ・イベントやプログラムの充実が、利用者層の拡大につながるため、これらの提供者であるパーククラブの多様化を検討する必要がある。
- ・今回は、パーククラブへの「女性の参加」に絞って、検討する。



【2】現状

①パーククラブ

- ・会員 96 名のうち、女性の会員は 15 名（約 20%）である。
- ・女性の活動参加頻度は低いが、大きなイベントやスキルアップ講座には数名の参加が見られる。
※ただし観光ボランティアを兼ねている人など、多忙な人が多いことも参加頻度の低い原因である。
- ・特に調理を伴うイベント、子どもの多いイベントでの女性の活躍が目立っている。
- ・また人数は少ないながら、スイセンの育成活動などへも女性の参加が見られた。



パーククラブの男女比



イベントでの活躍



スキルアップ講座への参加

②えんづくりプログラム

- ・ベンガラ染め（アトリエ彩の実）やアロマテラピー（hanairo）などのプログラムが女性に人気である。
- ・上記 2 団体は女性を中心として構成される団体であり、プログラム参加者も女性が多い。



ベンガラ染め体験



アロマテラピー体験

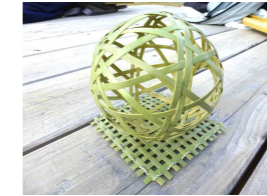
③現状から考えられる「女性の参加」のポイント

- ・園路整備や竹林整備など、体への負担が大きい活動への女性の参加は難しい。
- ・竹細工、染め物、アロマなど、自然の素材を活かして何かを作るプログラムが女性に人気である。
- ・花に関連する活動も人気を集める可能性がある。
- ・プログラムの主催者にも女性が多ければ、女性が参加しやすい。

【3】「女性の参加」を促進する方向性について

■女性をターゲットとしたプログラムや講座の開催

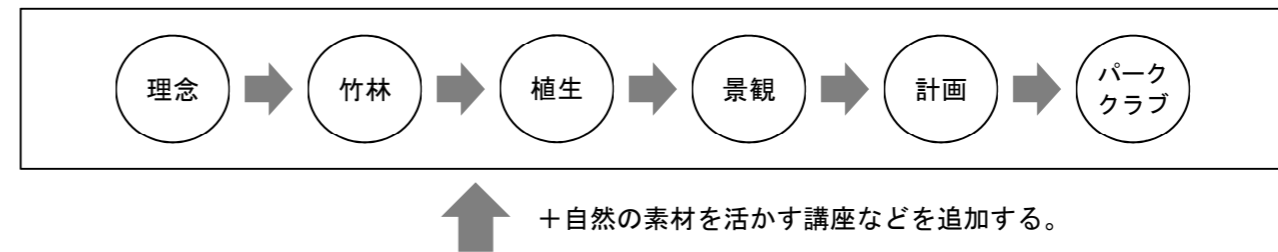
- ・公園の素材を活かしたクラフトや竹細工、花づくり講座などを開催する。
- ・女性の講師を招くなど、女性が参加しやすくなるよう工夫する。



■女性パークレンジャーの増加やチームの新設などの検討

①パークレンジャー養成講座に女性の視点の講座を追加する

▽現行のパークレンジャー養成講座



- ・自然の素材を活かしたプログラム（竹細工や花）づくりを学ぶことを趣旨とした講座を追加する。
- ・課題として、パーククラブ内で女性が参加しやすくなる環境づくりも進める必要がある。

②花壇づくりチームを新設する

- ・園内での花壇のデザイン・植付・管理を担うチームをつくる。

（例）リーディング区域：パークセンター周辺、中央入口、イベント会場

コラボレーション区域：イベント会場付近のプランター



パークセンター周辺



郷の館前（イベント時）